

●がん患者等への支援（がん患者等支援部会）

①相談支援及び情報提供

めざす姿	<p>■最終目標 すべてのがん患者やその家族が、不安や悩み、疑問に対して、いつでも身近なところで、必要な情報を受け取ることができ、その悩みや疑問が軽減している。</p> <p>■中間目標 がん患者やその家族に必要な情報が届き、質の高い相談支援が受けられる体制が進んでいる。</p>
個別施策	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援機能の強化 ・患者目線での情報提供の充実
平成30年度 取組	<p>平成30年10月29日（月）</p> <p>1. がん患者・家族への相談支援事業 • 保健所における患者サロン等の実施（2回×3HC） • 拠点病院等のがん患者サロン運営者会議の実施（6/7実施）</p> <p>2. がん患者・家族への情報提供事業 • イベント（リレーフォーライフ やぱゝ奈良）会場での情報発信（10/6-10/7） • 県民だより奈良（2月号）での周知 (別添資料)</p> <p>3. （新） ライフステージ等に応じた相談体制整備事業 • がん相談支援センター・保健所相談員等研修会の実施（11/11） (P.2) • 小児がん患者の家族等交流会（1/19）</p>
平成31年度 計画（案）	<p>1. がん患者・家族への相談支援事業 • 保健所における患者サロン等の実施（2回×3HC） • 拠点病院等のがん患者サロン運営者会議の実施</p> <p>2. がん患者・家族への情報提供事業 • イベント（リレーフォーライフ やぱゝ奈良）会場での情報発信</p> <p>3. ライフステージ等に応じた相談体制整備事業 • がん相談支援センター・保健所相談員等研修会の実施 • 小児がん患者の家族等交流会</p> <p>4. （新）がんピアサポート支援活性化事業 • がんピアサポーター養成研修の実施（20名、3日間）</p>

■がん相談支援センター・保健所相談員等研修会（がん患者のアピアランスケア研修会）

●目的

- ・がん医療の進歩により、がんになっても長期に生存できるようになり、働きながらがん治療を受けている方が増加するなど、治療に伴う外見（アピアランス）の変化等社会的な課題への対応も求められている。
- ・医療従事者がアピアランスケアの意義について理解を深めること、また病院の取組を意見交換し、より良いアピアランスケアをがん患者さんに提供できることを目指し、研修会を実施する。

●対象

がん診療連携拠点病院等の医療従事者（がん相談員、看護師等）、保健所がんサロン担当者 等

●内容

日時	内容	参加者
平成30年11月11日 (日) 14:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ●講演「アピアランスケアの意義とエビデンス」 国立がん研究センター中央病院 アピアランス支援センター長 野澤 桂子 先生 ●質疑応答 <p>.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病院の取組発表 (がん診療連携拠点病院5病院) 	<p>46人</p> <p>職種内訳</p> <p>看護師：26人 MSW：8人 社会福祉士：4人 保健師：6人 その他：2人</p>

●概要

- ・病院でのがん相談の資質向上を目的に、相談員・医療従事者等を対象とした研修を実施した。
- ・講師医師からは、「がん患者が今までどおり、その人らしく生きるための支援を」「アピアランスクエアのエビデンスはほとんどなく、患者が自分で考えられるよう支援する」といったことを強調し講演いただいた。
- ・病院の取組は、がん診療連携拠点病院の5病院から報告があり、今後の病院での支援のあり方を具体的に検討することができた。
- ・アンケートでも、すべての参加者より「よかった・参考になった」と回答があり、病院の取組を見直し、患者がその人らしく過ごせるために、医療者としてできることを考えていきたいといった回答が多くあった。



■小児がん患者の家族等交流会

●趣旨

- ・日本では年間に2,000～2,500人、奈良県では約20人（15歳未満）が新たにがんと診断されている。
- ・「がん」は、日本人の死亡原因の第1位であり、5歳以上のこともの病死原因の第1位である。
- ・小児がん患者は、病気が治癒した後も、治療の副作用や病気の影響が後々まで残るなどの晚期合併症で、長期のフォローアップが必要になることもある。
- ・平成28年度に実施した小児慢性特定疾病医療費受給者の保護者を対象とした調査では、情報や相談場所、患者や親同士の交流の場所を希望している方が多いことがわかった。
- ・これらより、小児がん患者の家族等が、がんの現状や晚期合併症について学ぶとともに、同じような経験を持つ人と交流を持つことで、抱える問題の解決の糸口を見つけたり、問題との向き合い方に気づくことを目的として交流会を実施する。

●対象

県内在住の小児がん患者の家族等

●内容

日時	内容	参加者
平成31年1月19日（土） 14:00～16:40	<ul style="list-style-type: none"> ●講演「小児がんの現状と長期フォローアップ」 奈良県立医科大学附属病院小児科 助教 石原 卓 氏 ●質疑応答 <p>.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ●交流会 	<p>講演会：24人</p> <p>交流会：19人</p>

●概要

<講演会について>

- ・講演会では、小児がんの治療について、AYA世代対策の重要性について、また急性期治療だけでなく、晚期合併症の問題もあり、長期的なフォローアップが必要である点を強調した講演であった。
- ・参加者アンケートからは、大半の方が「よかった」と回答しており、晚期合併症について、不安になったが、病院できちんとフォローされていることを知り、安心したといった意見もあった。
- ・病院からの案内だけでなく、県民だよりで知った方も多く参加された。

<交流会について>

- ・本人や周囲への病気の伝え方、兄弟へのフォロー、就職先への病気の伝え方が話題になった。
- ・参加者アンケートでは、「よかった」が大半で、今後も継続してほしいとの意見が多くあった。交流会の時間を長くしてほしい、同じ疾患の方と交流したいとの意見があった。
- ・次年度も継続して、疾病対策課で実施予定



②がん患者の就労を含めた社会的な問題

めざす姿	<p>■最終目標 がん患者やその家族が抱える仕事と治療の両立についての不安が軽減され、働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる。</p> <p>■中間目標 県民や事業者がんやがん患者に対する理解や支援が進んでいる。</p>
個別施策	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者の治療と仕事の両立等の相談支援体制の充実 ・がん患者の治療と仕事の両立体制の整備 ・就労を含めた社会的な問題等の情報提供の充実
平成30年度 取組	<p>平成30年10月29日（月）</p> <p>1. がん患者への就労相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「就労相談支援」チラシの作成（7,000部） (別添資料) ・事業者向け研修会での周知（奈良県のがん対策、就労支援の取組について） (P.4) <p>2. 国によるがん患者等への就職支援、両立支援への取組</p> <p>○奈良労働局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期療養者就職支援事業 (ハローワーク大和高田、奈良県立医科大学附属病院出張相談) ・治療と仕事の両立支援に関するガイドラインの周知 <p>○奈良産業保健総合支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者や患者（労働者）からの両立支援に関する相談及び個別調整支援 ・事業主や産業保健関係者向け研修会の実施 ・両立支援対策の普及促進のための個別訪問支援
平成31年度 計画（案）	<p>1. がん患者への就労相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者向け研修会での周知（奈良県のがん対策、就労支援の取組について） ・就労支援関係者の情報交換会の実施 ・職場環境調査の実施 ・労働時報（雇用政策課所管）の実施 ・奈良県社員・シャイン職場づくり推進事業での「がんネット」ならでの好事例の掲載 <p>2. 国によるがん患者等への就職支援、両立支援への取組</p> <p>○奈良労働局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期療養者就職支援事業 (ハローワーク大和高田、奈良県立医科大学附属病院出張相談) ・治療と仕事の両立支援に関するガイドラインの周知 <p>○奈良産業保健総合支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者や患者（労働者）からの両立支援に関する相談及び個別調整支援 ・事業主や産業保健関係者向け研修会の実施 ・両立支援対策の普及促進のための個別訪問支援

■がん患者への就労相談支援事業 事業者向け研修会での周知

●目的

県内の事業者に向け、がん患者等の現状を伝え、各就労相談機関の周知をすることで、事業者の両立支援体制の促進を図る。

内容	日時	参加者数
<p>「治療と仕事の両立支援セミナー」で周知 (奈良労働局、奈良県産業保健総合支援センター共催)</p> <p>1. 治療と職業生活の両立支援のためのガイドラインの概要について (奈良労働局 健康安全課)</p> <p>2. がん患者が働きやすい職場をめざして ～奈良県のがん対策・就労支援の取組について～ (奈良県 疾病対策課)</p> <p>3. ハローワークによる長期療養者の就職支援について (奈良労働局 職業安定課)</p> <p>4. 治療と仕事の両立支援の具体的な進め方と公的な支援について (奈良産業保健総合支援センター)</p>	平成30年11月1日 (木) 14:00～16:10	29名 (28社)
	平成30年12月14日 (金) 14:00～16:10	25名 (22社)
<p>「健康経営セミナー（健康保険委員研修会）」で周知 (全国健康保険協会奈良支部主催 奈良県社会保険委員会連合会後援)</p> <p>(健康経営セミナー内で講演)</p> <p>. がん患者が働きやすい職場をめざして ～奈良県のがん対策・就労支援の取組について～ (奈良県 疾病対策課)</p>	平成30年12月5日 (水) 13:30～15:00	152名 (117社)

●概要

- 各機関が実施する事業者むけ研修会で、「がん患者が働きやすい職場をめざして」とし、県内のがん患者の就労状況報告及び、がん相談支援センター等の相談窓口の周知を行った。
- 参加者からは、「従業員が今よりも安心して働くことができる課題がわかった」「今はまだ両立支援の整備ができていないので参考になった」「相談できるところがあるとわかって安心した」との意見があった。
- 今後も他機関と連携し、事業者むけに就労支援の取組を周知する機会をもち、事業者の両立支援体制を促進していきたい。